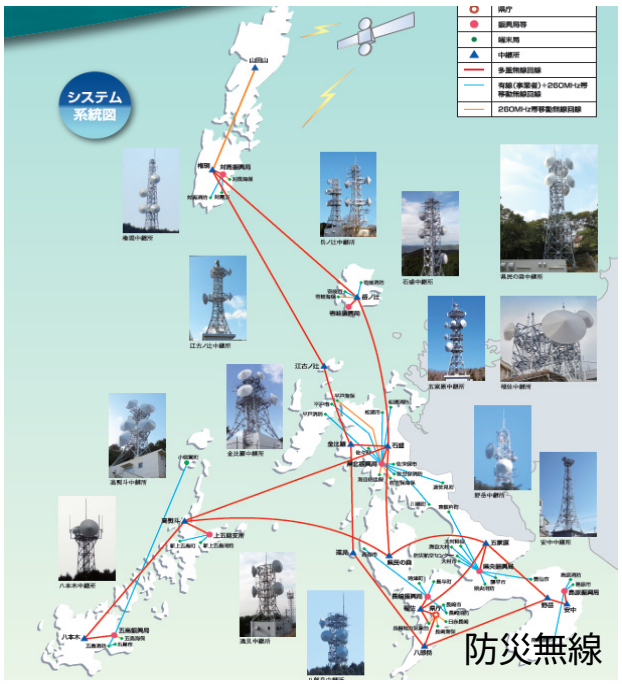
長崎県職員（電気職）の
お仕事紹介

電気職のお仕事とは？

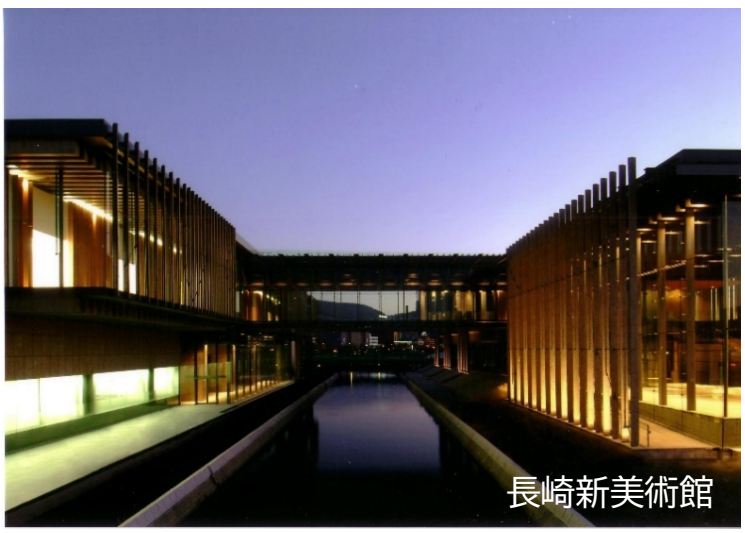
県民の誰もが安全・安心で快適に暮らせる「ながさき」を創るため、公共建築物や交通インフラ、防災無線などの**電気設備の計画、設計、施工監理及び維持管理**に従事し、電気技術者として持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

詳しくはこちら！

長崎県庁舎



防災無線


長崎新美術館

上五島空港

※職員の所属はインタビュー時点のものです。

Message
01
電気職

危機管理課（令和３年度当時）

林田 主任技師
HAYASHIDA
（令和２年度入庁）

Interview for engineer:

現在従事している仕事について

私は、危機管理監危機管理課防災対策・施設班に所属しています。電気職には建築営繕、施設管理、防災などの業務があり、その中で防災行政の仕事に従事しています。

主な仕事としては、防災行政無線をはじめとする情報伝達システムの運用・保守や更新を担当しています。

災害はいつ発生するかわかりませんが、いかなるときでも迅速かつ的確な対応が求められます。確実に情報の収集や伝達を行えるように、多くの防災関係機関と協力しながら、平時から環境を整えておくことが大切になります。

この職場の魅力は、市町や国、防災関係機関の方と広く関わりながら仕事をできるところだと思います。また最近は災害が激甚化・広域化していることもあり、行政機関に求められるものも非常に多岐に渡っています。今の方法に拘らず、よりよい方法がないか、常に検討し続けることが必要になります。

さて、災害時には大雨警報や土砂災害警戒情報、避難指示や避難所の開設などの情報を耳にすることがあるかと思いますが、これらの情報は誰が判断し、どのような手段で住民へ伝達されているかご存知ですか？興味がある方はぜひ、危機管理課をご希望ください！

長崎県庁を志した理由

もともと他県の行政機関に勤めていましたが、30歳手前で地元長崎県に戻ってきました。

県の電気職は、電気設備、無線設備など様々な分野に関わることができること、また県内全域に県有施設があり、地域の特性を生かした様々な建築物に携われることへ魅力を感じ、志望しました。

これからの目標

県職員には異動があるため、所属によって様々な仕事に携わることができます。

今後は防災行政以外にも、その他の部局で経験を積むことで専門知識を深めるとともに、幅広い分野の経験を身につけていきたいです。

就職希望者へ送るメッセージ

県の電気職の仕事は、工事の設計や発注、施設の維持管理に加えて、予算や事務など多岐にわたります。また部署によっては様々な機関、職種の方と一緒に仕事をすることができ、仕事に限らず幅広い知見を深めることができます。一年の中で多くの業務を並行して行いますが、そのぶん話題性のある仕事に多く関わることができること、また、自分が関わったものがカタチに残るのことがこの職種の魅力だと思います。

問い合わせ先

長崎県土木部建築課
TEL:095-894-3091,3093～3097（ダイヤルイン）　FAX:095-827-3367
E-mail:s08060@pref.Nagasaki.lg.jp

職務風景

Message
02
電気職

土木部　港湾課
空港班

濵　技師
HAMA
（令和４年度入庁）

Interview for engineer：

現在従事している仕事について

みなさんこんにちは！
土木部港湾課空港班の濵です！！
班名の通り、空港に携わる仕事をしていて、長崎県が管理している福江空港、対馬空港、壱岐空港、上五島空港、小値賀空港の空港の照明、空港の照明に関連する電源設備、空港の照明を監視する設備の維持管理を主な業務としています。
長崎県が管理している空港はすべて離島に設置されていて、島民の方々の大事な交通手段、緊急時のヘリの離着陸、医師搬送などに利用されて、島民の生活を守る上で必要な施設です。このような空港施設の維持管理に携われることは、やりがいと誇りを感じています。
現在、2030年度までに空港の照明をすべてLED化するという計画の元、各空港のLED工事の予算の確保、空港の照明更新に係る各種事務手続き、工事発注、工事監理まで行っていて、大変ですが充実した毎日を送っています。電気的な知識も当然ながら必要ですが、空港特有の知識も必要になるので、普段ではあまり触れることができない内容を学べることも魅力の一つかなと思っています。

長崎県庁を志した理由

私は生まれも育ちも長崎で、長崎のために何かしたいとぼんやりとですが考えていたんですけど、私が就職活動を行っているときに長崎県庁で電気職員の募集をみつけて、大学で電気を専攻していることもあって、長崎県のために大学で学んだことを活かして仕事ができるんじゃないかと考えて長崎県庁に入庁しました。

これからの目標

これからの目標は、１人前の電気職員になることです。長崎県庁の電気職員は十数人と少数ですが、各々がそれぞれの能力を生かして日々業務を行ってます。まだ私一人では、できないこともたくさんあるので、まずは電気職員として１人前になって上司からも信頼される職員となって県民の皆様の役に立つ存在になりたいです。それに、今後後輩が入ってきた時には、適格な指導もできるように日々成長していきたいですね。

就職希望者へ送るメッセージ

予算の確保、工事発注、工事監理、施設の維持管理など業務内容は多岐にわたるため様々な知識を必要とする場面が多くあり大変な部分もあるけど、その分、幅広い知識を得ることもでき、とても魅力ある仕事と思います。
仕事とプライベートの両立もしやすい環境だから、プライベートも充実させやすいですよ。
長崎県のために仕事をしたい、自分の知識を活かしたい、そんな気持ちをお持ちの皆様と共にお仕事ができる日を楽しみにしています！

職務風景

問い合わせ先

長崎県土木部建築課
TEL:095-894-3091,3093～3097（ダイヤルイン）　FAX:095-827-3367
E-mail:s08060@pref.Nagasaki.lg.jp

Interview for engineer：

現在従事している仕事について

私は土木部建築課計画指導班、営繕課電気設備班を兼務していて、主に「営繕」という県有施設の新築、増築、改修などの工事の発注や工事監理の仕事に携わっています。営繕には建築職や機械設備職など様々な職種の人が関わり協力し合いながら業務を行っているんですが、私はその中で電気職として電気設備（照明や火災報知設備等）に関する工事を担当しています。1つの工事の中で設計から施工まで設計事務所の方や施工業者の方などたくさんの方が関わりながらよりよい施設をつくっています。工事が完成した時はどの現場でも大きな達成感を感じています。また、県有施設は長崎県美術館（長崎市）や県立総合運動公園（諫早）など県内全域、皆さんの身近に多くあります。その中でも県立高校の工事が皆さんと関わりが大きいのかなと思います。高校生の頃学校で何か工事をやっているのを見たことがある方もいるかもしれません。あまり大きな印象に残っている人は少ないと思いますが私も高校生の頃学校で工事があったことがあったな～、自分の高校生活も裏で支えてもらってたんだな～と仕事をしながらぼんやり感じました。

営繕の仕事は県有施設の工事をとおして多くの県民の方の当たり前の生活を支えることができる仕事だと感じています。まだまだ経験は多くないですがこれからも多くの現場、多くの方々と関わり、経験を重ねながら長崎県職員としても電気技術者としても、人としても成長できるように日々の業務に励みたいと思います。

長崎県庁を志した理由

私は高校・大学と電気系の学科に在籍していたので電気系の仕事がしたいと考えていました。また、大学時代は県外だったので、長崎に戻ってきたいなとも考えてました。元々は教員志望でしたが、長崎県に電気職員の募集があることを知り、これまで学んできた電気の知識を長崎県や、これまでお世話になった方々のために仕事ができるんじゃないかなと思ったのがきっかけです。

これからの目標

長崎県職員は様々な部署で仕事を行います。電気職も様々な部署で様々な仕事に携わります。その所属ごとに扱う電気の知識も違って、幅広い知識が必要なので、様々な仕事に携わって経験を重ねていきたいと思います。また、電気主任技術者などの資格取得も目指しながら電気技術者としても県職員としても成長できるように業務に励みたいです。

就職希望者へ送るメッセージ

長崎県職員は様々な職種の人がいて、どの職種もより良い長崎県のためには必要です。もちろん電気職も人数は少ないですが他の職種と同様にとても重要な職種です。

就職活動の中で不安な事も多いと思いますが今は勉強やクラブ活動、遊びなど今しかできない事を楽しみながらたくさん経験してください。その中で皆さんが学んできたこと、経験したことはきっと仕事の中で活かされると思いますし、そんな皆さんの知識や経験が長崎県には必要です！

志望理由に大きい小さいもありません。勉強してきたことを活かしたい！長崎で働きたい！などと思っている方にはピッタリだと思います。皆さんの大切な未来の選択肢の一つに長崎県職員を考えてもらえたら嬉しいです。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしてるよ！

問い合わせ先

長崎県土木部建築課
TEL:095-894-3091,3093～3097（ダイヤルイン）　FAX:095-827-3367
E-mail:s08060@pref.Nagasaki.lg.jp

職務風景